

NEWS RELEASE

会社名 株式会社ティムス
代表者名 代表取締役社長 若林 拓朗
(コード：4891 東証グロース市場)
問合せ先 取締役 伊藤 剛
(TEL. 042-307-7480)

第75回日本生物工学会大会のシンポジウムにおける講演のお知らせ

株式会社ティムス（以下「当社」という）は、当社の取締役会長 蓮見恵司が第75回日本生物工学会大会（開催地：愛知県名古屋市、名古屋大学東山キャンパス、開催期間：2023年9月3日（日）～9月5日（火））のシンポジウムにおいて、以下のとおり講演を行うことをご知らせいたします。

1. 講演の概要

講演日 : 2023年9月4日（月）
シンポジウム名 : 合成生物学が切り拓く次世代型天然物創薬
講演タイトル : 血栓溶解促進物質 SMTP の発見と脳梗塞治療薬開発
大会 HP : <https://www.sbj.or.jp/2023/>
日本生物工学会 HP : <https://www.sbj.or.jp/>

2. 講演の内容

本講演においては、開発中の TMS-007 や TMS-008 を含む SMTP (*Stachybotrys microspora* triprenyl phenol) 関連化合物の発見の経緯、作用機序、薬理活性と、脳梗塞治療薬としての TMS-007 の臨床開発の概要について紹介いたします。さらに、SMTP を生産する微生物が、「何の目的でどのようにそれを生合成するのか」という問いに対して最新の結果を交えて考察する予定です。

【株式会社ティムスについて】

黒カビ由来の SMTP 化合物群から成る、差別化された革新的なパイプラインを保有するバイオベンチャー。リードパイプラインの TMS-007 は、急性期脳梗塞を適応症としており、前期第Ⅱ相臨床試験において高い有効性と安全性を示し、2021年5月にその権利を米国バイオジェン社に譲渡。後続の新薬パイプラインである TMS-008 は、急性腎障害等を適応症として開発を進めている。また、アカデミア等の研究をグローバルの医薬品市場に展開することを目指し、主に国内のアカデミアの早期開発段階の創薬シーズに着目し、新規パイプラインの拡充を図っている。

詳細は当社ウェブサイト (<https://www.tms-japan.co.jp>) をご覧ください。

以上